

## 差し掛け屋根（招き屋根）の頂側窓の入力（3階建て）

文書管理番号：1069-03

### Q. 質問

棟の高さが異なる切妻屋根（差し掛け屋根、招き屋根）の間にできる立ち上がりの壁に、明かり取りの窓（頂側窓）を入力したい。

### A. 回答

頂側窓を作成するには、プラン図で窓を入力する位置に壁を配置し、そこに窓を入力して高さを調整します。

その際、当該階に下り壁を配置して作成する方法と、上階に区画を作成して表現する方法があります。ここでは、上階に区画を作成して表現する方法を説明します。プレゼン（パース）を想定した作成方法となります。

当該階に下がり壁を配置して入力する方法や、2階に小屋裏を設定して表現する方法につきましては、こちらをご覧ください。

[\[1068\] 差し掛け屋根（招き屋根）の頂側窓の入力（2階建て）](#)

[\[1173\] 差し掛け屋根（招き屋根）の頂側窓の入力（小屋裏利用）](#)

### 作成の流れ

- ① 入力階層の変更
- ② プラン図の入力
- ③ 屋根伏図の入力
- ④ パース確認

## 操作手順①：入力階層の変更

 (物件概要)で、建物階数を変更します。

- \* 地上階を「3」に変更し「OK」を押すと、設定が反映し、プラン図、屋根伏図で3階が入力できるようになります。



物件概要 基本情報 1/4

施主名  建築主現郵便番号  -   
 フリガナ  建築主現住所    
 プラン名  建築主電話番号   
 営業担当  コメント   
 設計担当   
 工法   中間階  小屋裏  
 目標基準

建物階数  
 地上階   中間階  小屋裏  
 地下階

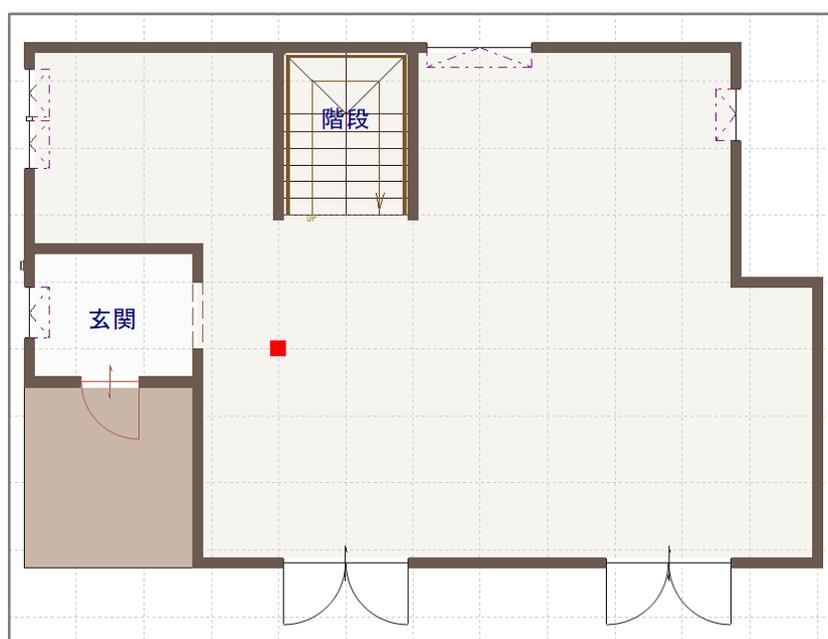
建物タイプ   
 床高・天井高   
 軒高

リフォーム機能を有効にする  
 既存図と計画図の2つのプランを管理することができます。  
 既存図を参考にしながら、計画図を作成することができます。計画図だけでなく、既存図の画像、図面、パースの出力もできます。

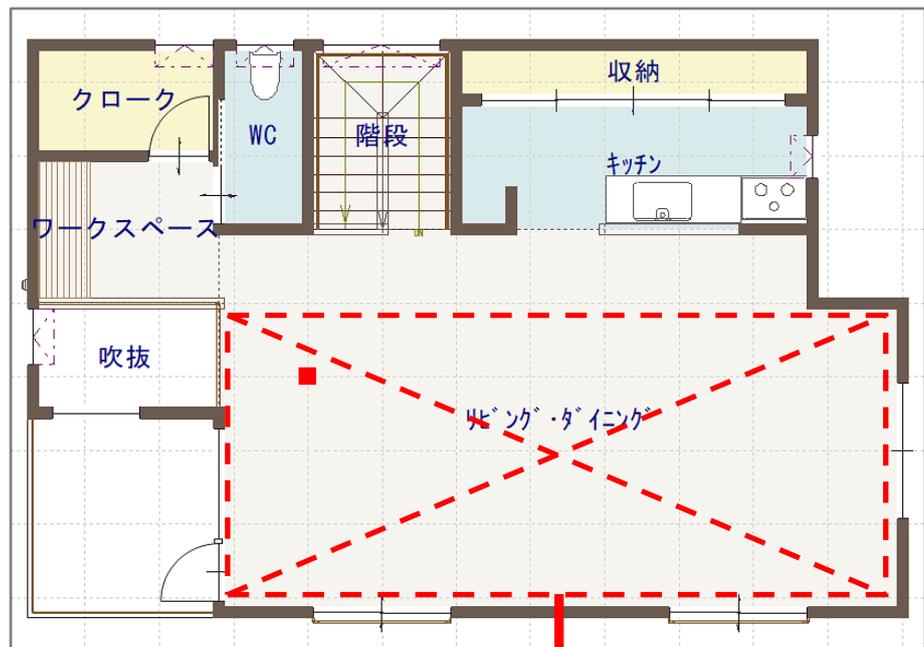
## 操作手順②：プラン図の入力

<1 階平面図>

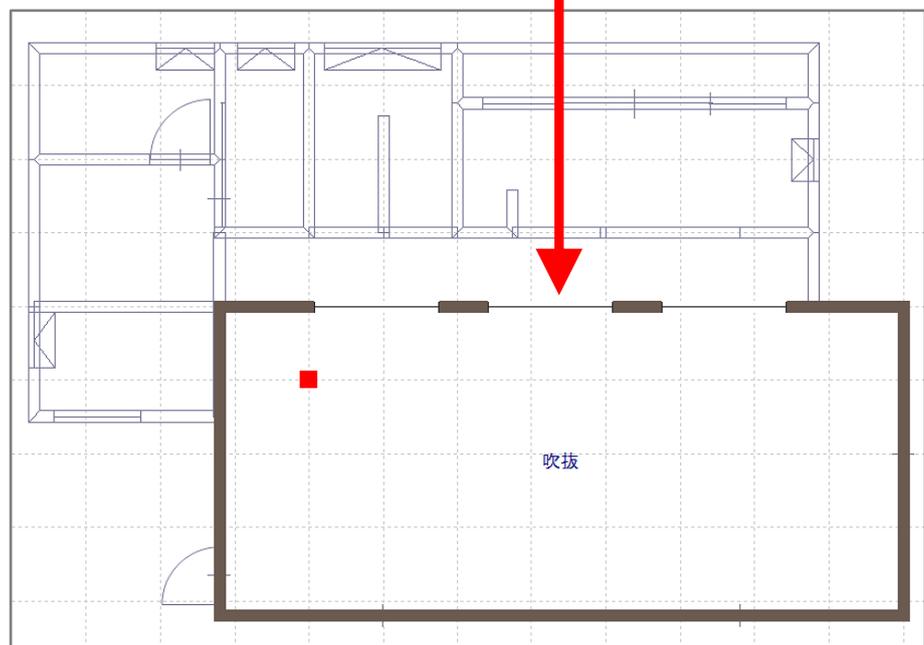
1階の間取りは簡略化しています。



## &lt;2階平面図&gt;



## &lt;3階平面図&gt;

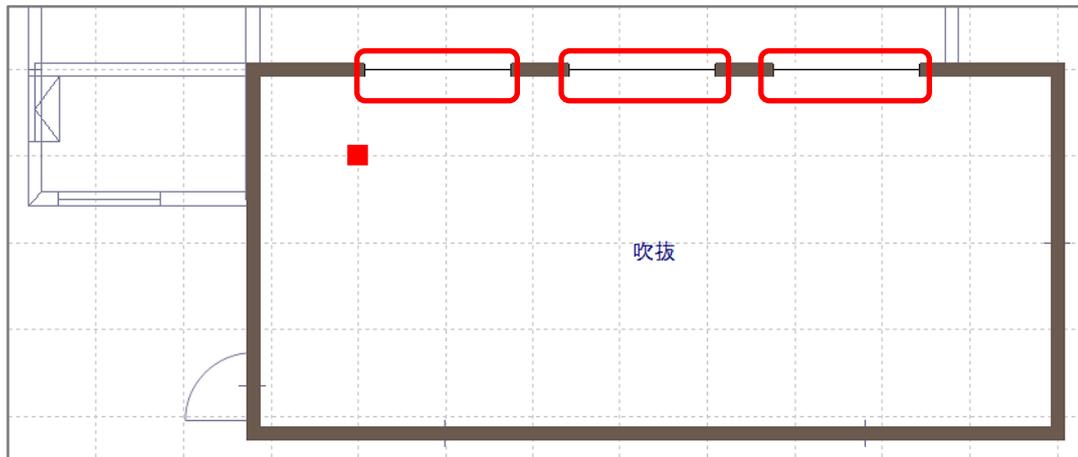


1階2階の入力手順は省略し、3階の入力手順を説明します。

- ①  (プラン図)の3階で、 (壁)の (全壁)を入力
  - \* 頂側窓を配置する壁の位置を確認しながら、区画を作成します。
- ②  (部屋)を入力
  - \* 部屋名は「吹抜」とします。「吹抜」に設定した範囲の2階の天井面がなくなり、頂側窓のある3階の区画とつながります。

③ (建具)の (FIX)をクリック

\* ここでは、下のようにFIXを3つ配置します。

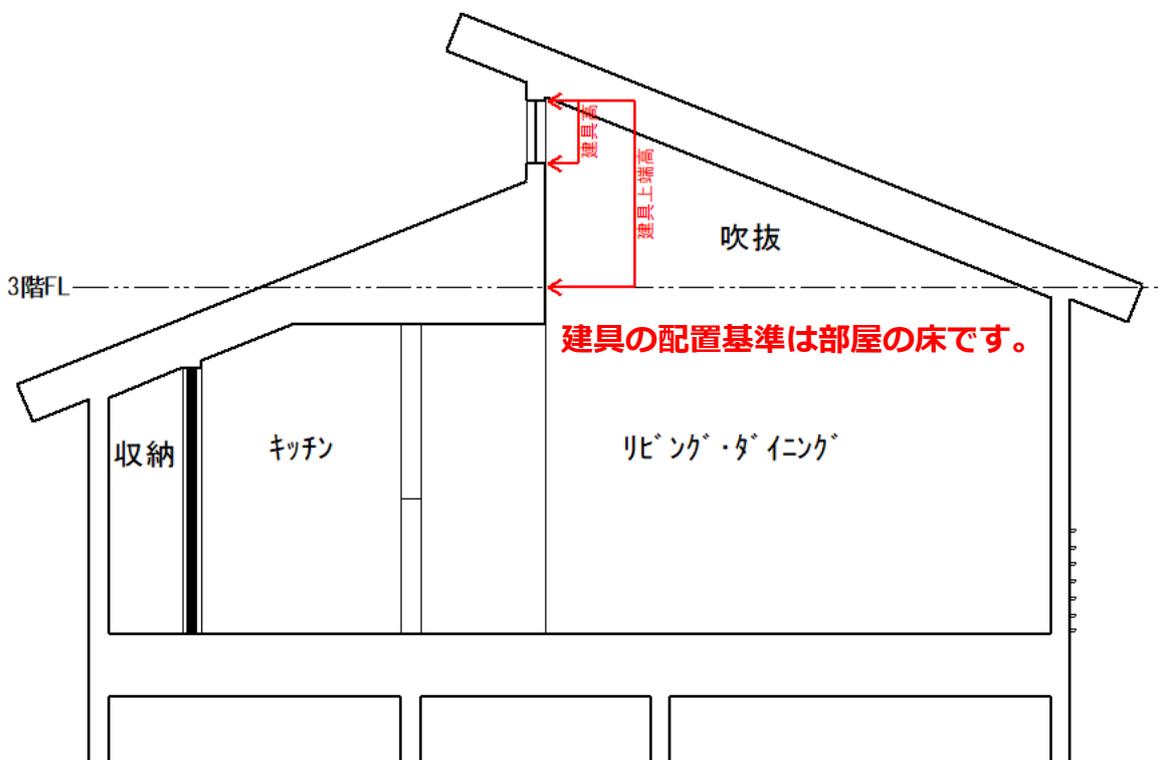


④ 配置したFIXの1つを (要素選択)で選択後、右クリック

⑤ 建具のスマートメニューから、建具の高さを調整

\* ここでは、上端高を「1500」、建具高を「500」に設定します。

3つのFIXとも同じ高さに調整します。



【参考】 建具部材指定で建具を入力している場合

 (物件概要)の 3/4 ページ目「建物仕様」パネルの「建具部材指定」にチェックをつけて建具の入力を行っている場合、建具を選択した状態で右クリックしても、スマートメニューは表示されません。

建具を選択後、右クリックメニューの「高さ設定」で建具の高さを変更してください。

<規格建具の場合>

高さ・詳細情報設定

建具選択 詳細情報

<候補リスト>

- FIX窓 16507
- FIX窓 16509
- FIX窓 16511
- FIX窓 16513
- FIX窓 16515
- FIX窓樹脂 165018
- FIX窓樹脂 165023
- FIX窓樹脂 165033
- FIX窓樹脂 165043
- FIX窓樹脂 16505**
- FIX窓樹脂 16507
- FIX窓樹脂 16509
- FIX窓樹脂 16511
- FIX窓樹脂 16513
- FIX窓樹脂 16515

規格外建具

障子

上端高 1500

付属品 単体

建具幅W 1690 mm

種類

建具高H 570 mm

開口高h 500

ガラス仕様 Low-E複層ガラス

内法幅w 1650

鍵仕様 (未設定)

欄間

欄間無目高 100 mm

枠形状  四方  三方

欄間高 300 mm

枠種類  額縁  加巻

中心  左  右 0

吊元変更  方向変更

<規格外建具の場合>

高さ・詳細情報設定

建具選択 詳細情報

<候補リスト>

- FIX窓 16507
- FIX窓 16509
- FIX窓 16511
- FIX窓 16513
- FIX窓 16515
- FIX窓樹脂 165018
- FIX窓樹脂 165023
- FIX窓樹脂 165033
- FIX窓樹脂 165043
- FIX窓樹脂 16505
- FIX窓樹脂 16507
- FIX窓樹脂 16509
- FIX窓樹脂 16511
- FIX窓樹脂 16513
- FIX窓樹脂 16515

**規格外建具**

障子

上端高 1500

付属品 単体

建具幅W 1690 mm

種類

建具高H 570 mm

開口高h 500

ガラス仕様 (未設定)

内法幅w 1650

鍵仕様 (未設定)

欄間

欄間無目高 0 mm

枠形状  四方  三方

欄間高 0 mm

枠種類  額縁  加巻

中心  左  右 0

吊元変更  方向変更

候補リストから窓の規格を選択し、窓の上端高を「上端高」に入力してください。

使用する窓の規格が候補リストに無い場合は、「規格外建具」を選択し、「上端高」「開口高h」を入力してください。

### 操作手順③：屋根伏図の入力

ここでは、大まかな作成手順を説明します。

#### 【参考】

屋根の詳しい入力方法については、こちらをご覧ください。

[\[1044\] 切妻屋根の手動作成方法](#)

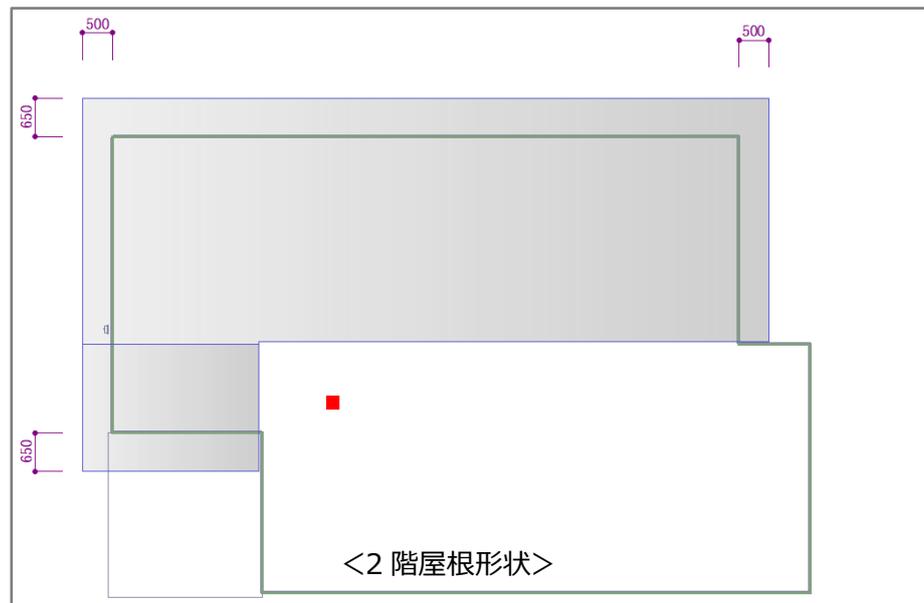
[\[1045\] 屋根手動入力のポイント](#)

①  (屋根伏図)をクリック

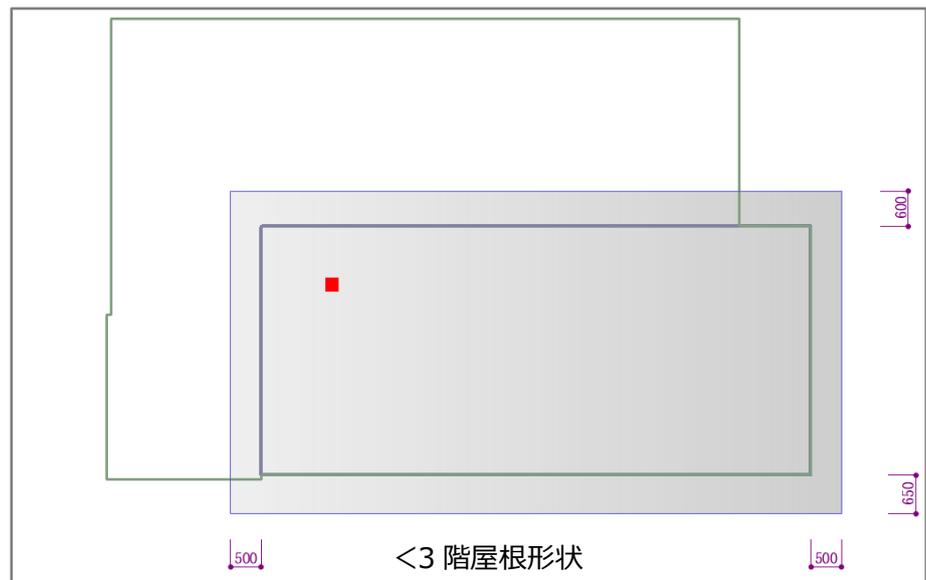
② 必要に応じて  (下書き線)で、屋根面の形状の下書き線を配置

③  (面作成)の  (屋根面)で、屋根面を入力

\* 2階には、吹抜部分以外の屋根を入力します。



\* 3階には、吹き抜け部分の屋根を入力します。



④ (面設定)で高さや勾配などを決め、屋根を作成

配などを決め、屋根を作成

\* ここでは、2階の屋根の一部が母屋下がりになるため、屋根の基準位置を下のようにとります。

2階屋根面

**面設定**    **2階の屋根は2階軒高をそのまま使用します。**

GL基準  mm

軒基準  mm

勾配  /100

---

カーベスト, 264, 324

3階屋根面

**面設定**    **3階の屋根は2階の軒高まで下げます。**

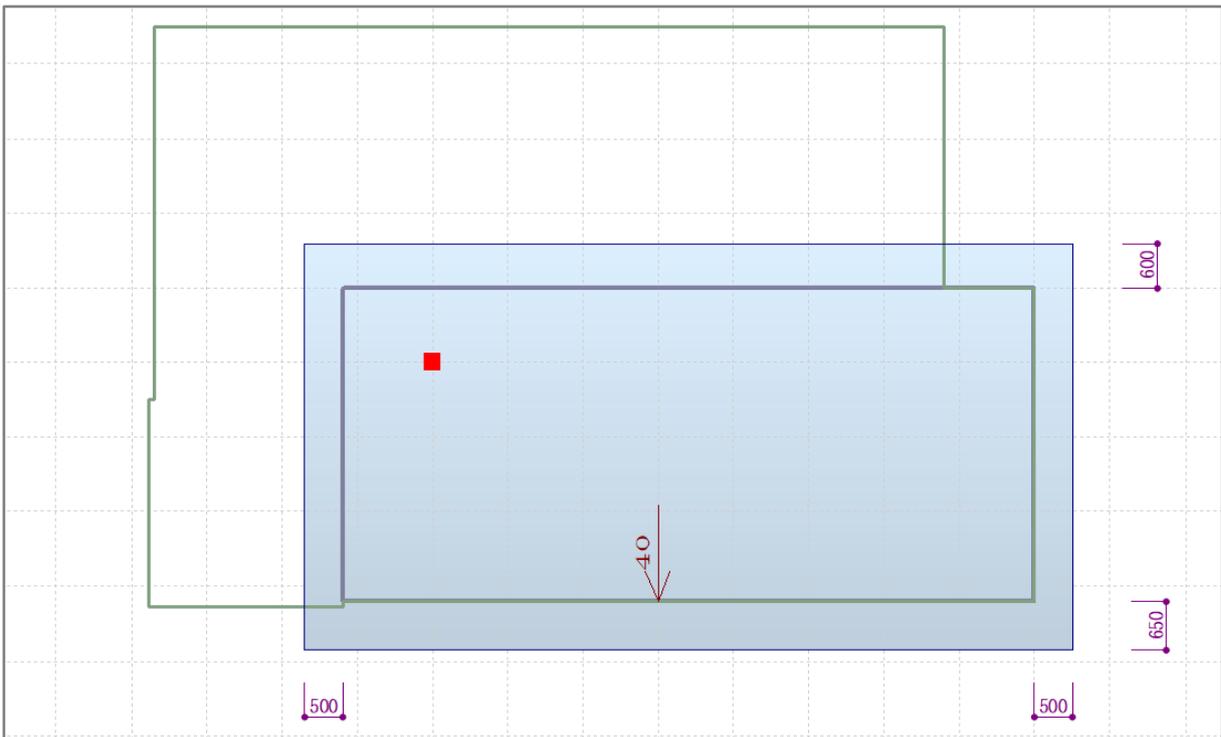
GL基準  mm

軒基準  mm

勾配  /100

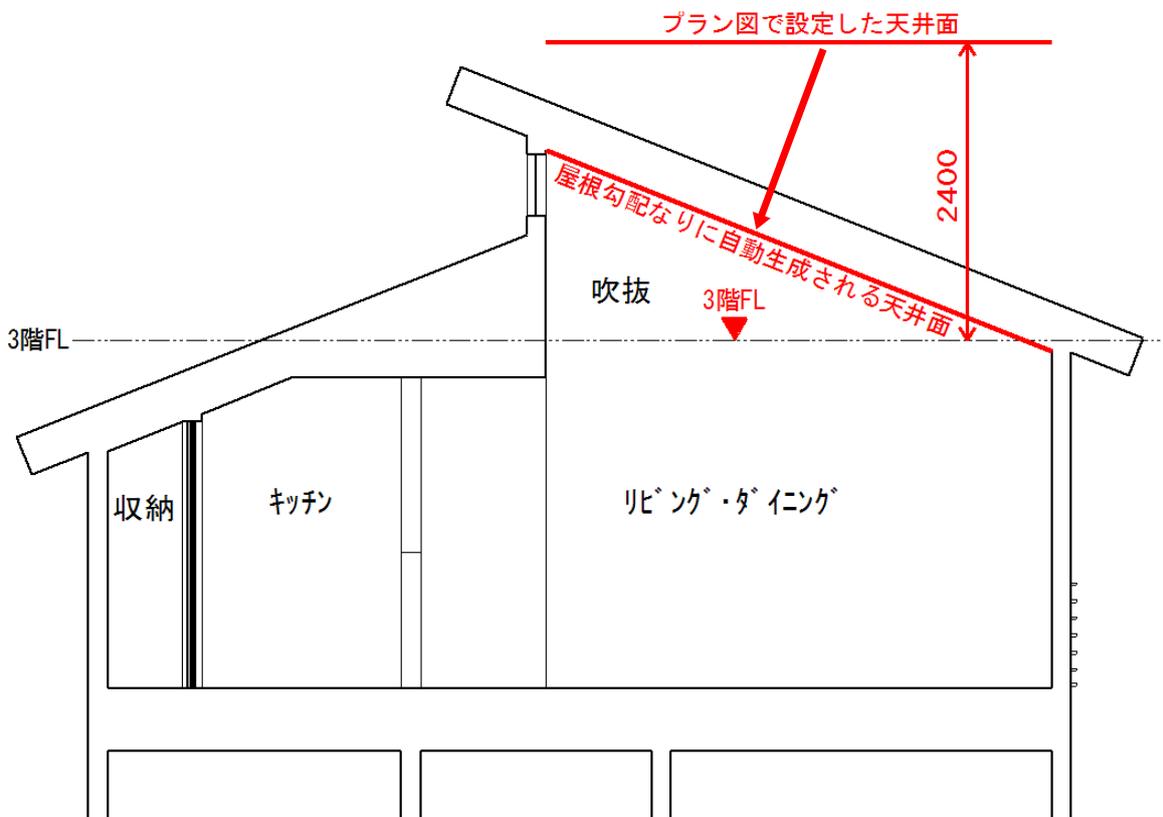
---

カーベスト, 264, 324



【参考】

屋根の高さを下げることで、屋根よりも高い天井面が屋根勾配なりに自動生成されます。



\* 勾配天井の設定方法については、こちらをご覧ください。

[\[1049\] 勾配天井の作成方法](#)

**【注意】**

3階建てとしてデータが扱われるため、壁量チェックの計算などを2階建てで行う場合は、2階建てのデータを別途用意し、計算を行う必要があります。

**作手順④：パース確認**

外観、内観を  (3D パース) で確認します。



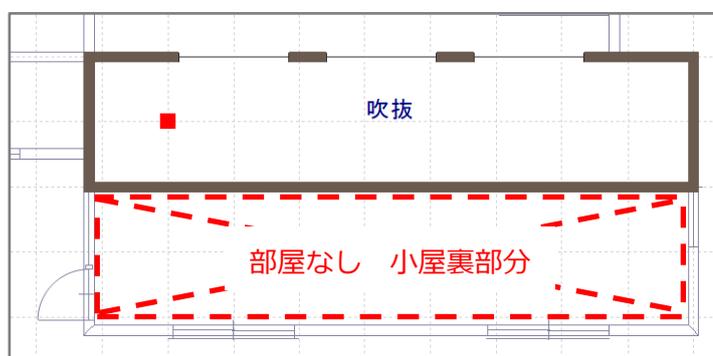
<外観パース>



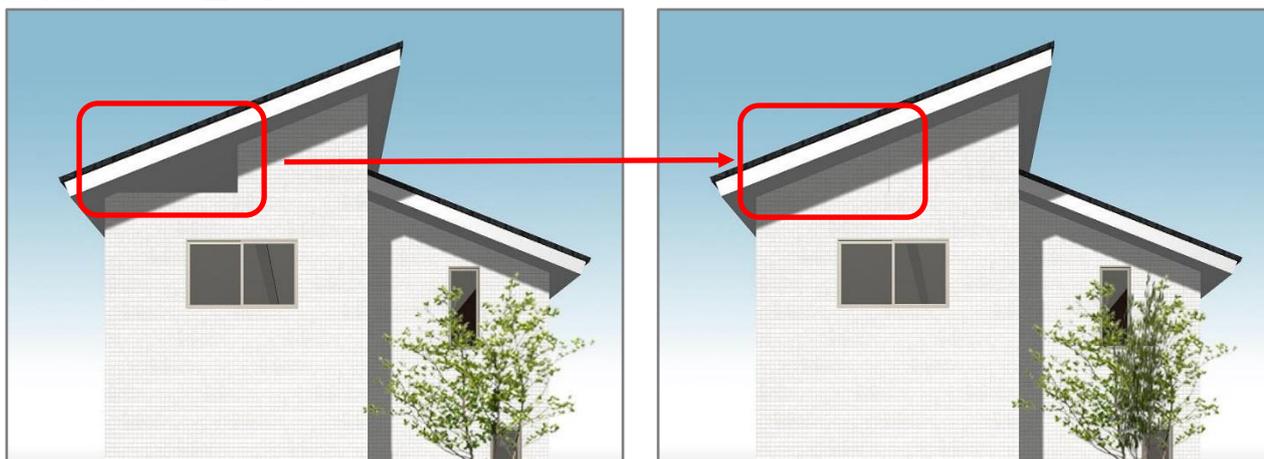
<内観パース>

## 参考

右のように3階の一部のみ部屋があり、屋根がかかる範囲全体に区画がない場合、3Dパースで表示した際に、壁がないところは穴があいたような表現になります。



このような場合は、屋根伏図で屋根面を「大屋根」に設定すると、当該階に壁がない部分は下階の壁を屋根面まで吸い上げます。



- ①  (要素選択)で該当する屋根面を選択後、右クリック
- ② 屋根の右クリックメニューから「屋根高さ変更」をクリック
  - \* 面設定の画面が表示されます。
- ③ 「大屋根」にチェックを入れる
  - \* 屋根面の色が変わり、当該階に壁がないところは、下階の壁が屋根面まで吸い上がります。

面設定

GL基準  mm

軒基準  mm

勾配  /100

---

カーベスト, 264, 324

屋根属性  軒先厚  mm

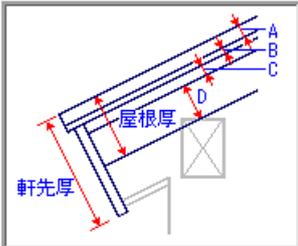
屋根厚 (A+B+C+D)  mm

A:仕上厚  mm

B:野地板厚  mm

C:他下地厚合計  mm

D:垂木高さ  mm



大屋根